

2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 英文学専攻	英 語 （No. 1）

以下のAからDまでのすべての問に解答しなさい。

解答にあたっては、各問に対する解答の冒頭に、それぞれアルファベットA～Dを明記すること。なお、Aについては各小問ごとに、A (1)のように番号も付して示すこと。Cの解答は解答用紙の最後のページにある指定された解答用紙に記入すること。

A. 次の英文の下線部(1)から(4)を日本語に訳しなさい。

出典：The Mainichi. (2025, August 29). Easy-to-install device co-developed by Japan prof. controls weeds with static. *The Mainichi*.より抜粋。

2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 英文学専攻	英 語 （No. 2）

B. 次の英文を日本語に訳しなさい。

出典：Reardon, S. (March 20, 2025). “Pioneering” study scans babies’ brains as they form memories: Baby-friendly imaging challenges long-standing assumptions about “infantile amnesia”. *Science*. より抜粋。

C. 次の英文の要旨を日本語で 200 字以内でまとめなさい。解答は解答用紙の最後のページにある指定された解答用紙に記入すること。

出典：Elwood, K. (January 7, 2024). Happiness in action: Probing the parameters of *ikigai*. *The Japan News*. より抜粋(設問の関係で一部変更している。)

2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 英文学専攻	英 語 (No. 3)

D. 次の日本語を英訳しなさい。

新しいプロジェクトが立ち上がった当初、誰もが慎重な姿勢を崩さなかった。しかし、成功の兆しが見え始めると、次々と人が「勝ち馬に乗る」ように参加し始めた。最初は静かだった会議室も、今では活気に満ちている。確かに、流れに乗ることは効率的だが、最初から信じて支えた人々の努力を忘れてはならない。勝ち馬に乗るのは簡単だが、勝ち馬を育てるのは難しいのだ。

解答または解答例：
Answer Keys or Examples：

設問 A

A (1)

解答例：最新の装置の開発において、松田教授は、夏季に旺盛な繁殖力をもつ雑草に焦点を当てた。大学内での実験では、通電した金網に触れた雑草は感電により枯れ落ち、この装置が雑草の成長を抑制する上で極めて効果的であることを示した。

A (2)

解答例：この電流は、冬季に自動車で生じる静電気と同程度であり、人体への有害性や火災の危険性はない。

A (3)

解答例：松田教授によれば、芝刈り機で簡単に除去できる地上の雑草とは異なり、柵に絡みついた雑草は手作業で除去せざるを得ず、手間のかかる厄介者だという。

A (4)

解答例：さらに、通常、除草の費用は面積によって算定されるため、このような作業内容が料金に十分反映されないという問題もあった。

設問 B

赤ちゃんだった頃の記憶があると思うかもしれないが、生後数年間の記憶は、おそらく自身の観察によるものではなく、聞いた話や写真から形成されたものに過ぎないだろう。長年にわたり、児童心理学者は、3あるいは4歳になるまでは、赤ちゃんの脳は、長期的な記憶を形成するには未成熟すぎると考えてきた。しかし、新たな研究がこの前提に疑問を投げかけている。そして本日『サイエンス』誌に掲載された画像研究、同種の研究としては初の研究によって、生後わずか12ヶ月の乳児であっても、少なくとも数分間持続する記憶を形成できることが示された。

設問 C

解答例

日本の社会心理学者・熊野美智子によれば、日本人は「幸せ」と「生きがい」を別の感情として捉えている。調査では約 8 割が違いを感じると回答している。「幸せ」は快楽や安らぎなど個人的で一時的な感情であり、「生きがい」は目的や努力、達成と結びつく感情である。この二分法によって、日本人には「ウェルビーイング」という西洋の包括的概念が理解しにくく、日本人の幸福度評価が低く出る一因と考えられる。（192 字）

設問 D

解答例

When the new project was first launched, everyone remained cautious. But as signs of success began to emerge, people started joining in one after another, eager to "jump on the bandwagon." What was once a quiet meeting room is now full of energy. Riding the wave may be efficient, but we must not forget the efforts of those who believed and supported it from the beginning. It's easy to jump on a winning horse—but raising one is a whole different challenge.

出題意図：

Intent of Questions：

設問 A, B

英文の内容を正確に読み取り、構文理解に基づいた確かな日本語訳を行う能力を問う。部分訳と全文訳により、文脈理解力と自然で論理的な翻訳表現力を評価する。

設問 C

英文のパラグラフを読み、その要点を抽出する力は、修士課程での文献研究に必要な力である。それを可能にする英語力と情報を簡潔にまとめる力があるかどうかを問うのがこの問題の意図である。

設問 D

英文学専攻での修士論文を英語で書く力があるかどうかを問うのがこの問題の出題意図である。文学作品では多彩な比喩表現が多く使われるが、この問題では日本語の日常的な比喩表現を、慣用表現や文化の違いを踏まえて適切な英語に訳せる英語力があるかどうか問うている。ポイントは次のような比喩表現や慣用句を的確に英訳できるかどうかである。

「プロジェクトが立ち上がる」、「慎重な姿勢をくずさない」、「成功の兆しが見え始める」、「勝ち馬に乗る」、「活気に満ちている」、「波に乗る」、「勝ち馬を育てる」